

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング科	平成28年文部科学省 告示第19号	-																							
学科の目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	昼間	1720時間	570時間	1020時間	440時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
80人	57人	0人	2人	16人	18人																						
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																						
長期休み	■夏季:7月13日～9月30日(1年次) 8月11日～9月8日(2年次) ■冬季:12月21日～1月8日 ■春季:3月10日～4月5日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) ホテル業界を中心としたサービス業界全般 ■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。 ■卒業業者数 30 人 ■就職希望者数 30 人 ■就職者数 30 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他  (平成 30 年度卒業生に関する 令和元年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																						
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>30</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定2級</td> <td>③</td> <td>29</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコル検定3級</td> <td>③</td> <td>30</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	29	28	パーソナルカリスト検定3級	③	30	28	パーソナルカリスト検定2級	③	29	15	マナープロトコル検定3級	③	30	20
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	29	28																								
パーソナルカリスト検定3級	③	30	28																								
パーソナルカリスト検定2級	③	29	15																								
マナープロトコル検定3級	③	30	20																								
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 1.4 % 平成30年5月1日時点において、在学者67名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者66名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路の変更のため ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。学科責任者や保護者を含めての面談。 ガイダンス記録による報告。																										
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 前年度給付対象なし																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://www.asoiuku.ac.jp/aftc/subject/bridal/">http://www.asoiuku.ac.jp/aftc/subject/bridal/</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸として航空サービス業界において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
小野 聡之	九州BMC常任相談役兼副会長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
西藤 未来	株式会社ディアーズブレイン 人材開発部	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 サブリーダー	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 教員	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年6月20日(水) 16:00～17:30

第2回 平成30年10月17日(水) 16:00～17:30

第1回 令和元年6月12日(水) 16:30～17:30

(開催日時(予定))

第2回 令和元年10月16日(水) 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「フォト/映像」や「イラストレータフォトショップ」などがカリキュラムに組み込まれているのは有効だと感じるとのご意見をいただき、継続して導入していく方針を決めた。

国家資格については、社内でも取得に向けて研修会を実施するなど企業としても必要性が増しているとのことで、改めて重要検定としてカリキュラムに反映させていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来プライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務的確実に反映した教育を提供する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習内容や勤務時間については、事前に企業と学校で協議を行い決定し、覚書に記載している。また、企業担当者に記載していただく評価表の内容や評価基準についても事前に確認を実施する。実習期間中には、個々の学修成果を確認するために学生に専用記録ノートを作成させる。最終評価は、企業の実習担当者による評価表と期間中の勤務状況、専用記録ノートの内容などを踏まえた総合評価とする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、8週間のホテル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また配属された部署を通して、ホテル組織の仕組みや部署間の連携を学ぶ。	セルリアンタワー東急ホテル、パークハイアット東京、セントレジス大阪、ウェスティン都ホテル京都
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	(株)山田屋、(株)テイクアンドギブ・ニーズ、アルカディア、高見(株)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規程」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的実施されるブライダル系関連団体の会合や研修等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドの研究を把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「国家試験に関する説明会」(連携企業等: BIA)  
期間: 平成30年8月24日 対象: 中村 直輝  
内容: 当年度から始まるブライダルの国家試験に関する詳細の勉強会
- ・研修名「福岡ブライダル法務セミナー2018」(連携企業等: BIA)  
期間: 平成30年5月22日(火) 対象: 中村 直輝  
内容: 音楽著作権や持込規制、美容師法などブライダル関係者が知っておくべき法務知識を学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「コーチング実践」(連携企業等: 組織デザインラボ)  
期間: 平成30年9月5日(水) 対象: 東 まゆみ  
内容: 学生のやる気と能力を引き出すコーチングの基本スキル(傾聴・質問・承認)について、ロールプレイングを通して学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「期待通りでなく、期待を超える結婚式づくり ～私たちにまだ出来ること～」(連携企業等: 九州BMC)  
期間: 令和元年7月25日(木) 対象: 東 まゆみ  
内容: 期待通りではない、期待を超える結婚式づくりを、業界最大手であるテイクアンドギブニーズ有賀氏が講演する

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「3つのポリシーの策定・運用実践」(連携企業等: 先端教育機構)  
期間: 令和元年9月11日(水)、令和元年9月25日(水)、令和元年10月30日(水) 対象: 東 まゆみ  
内容: 教育の質保証における3つのポリシーの重要性及び関連性について理解するとともに、その策定や運用方法を実習やケーススタディなどを通じて学ぶ。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公開することにより、開かれた学校作りをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

昨年度から募集開始になった男子の募集について、男性ウェディングプランナーの需要が高まっていることを男子在校生にも協力してもらい告知しては、との意見をいただいた。男子の募集に関しては、来校授業や学校見学の際、広報スタッフにも改めてメリットとして通達することで協力を求め、ブライダル業界の男子の需要や仕事内容について説明を行うこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
溝口 敦子	保護者	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	PTA
堀部 豊和	卒業生	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	地域住民
甲斐 直樹	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	高校関係者
野中 昌	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
長 加奈子	福岡大学 准教授	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
小野 聡之	九州B.M.C. 常任相談役兼副会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
翁林 友子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
岸上 昌仁	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 ライトハンドリング課 マネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
金 大義	㈱韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
千々岩 朋子	ヒルトン福岡シーホーク 副総支配人-人事業務担当	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大屋 寿	株式会社 ニューオーターニ九州 執行役員人事総務部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
細溝 亮太	株式会社 JTB九州 福岡在中 人事チーム グループリーダー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
安藤 大介	高見株式会社 コスチュームDiv.九州 営業部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
山下 輝美朗	株式会社 石村萬盛堂 製造本部新宮工場 工場長洋菓子部次長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
廣瀬 義幸	ペイ・バスク オーナーシェフ	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
西藤 未来	株式会社 ディアーズ・ブレイン 人材開発部	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
工藤 由美子	株式会社QQEnglish 営業第3グループ エキスパートマネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2019/hyoka.pdf/>

公表時期:令和元年7月22日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、6つの特徴
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 平成31年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	15	1	○			○		○		
○			ウエディングセレモニー論B	アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験の取得を目指す	1後	30	2	○			○		○		
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	15	1	○			○		○		
○			ホテル概論	ホテルの歴史、組織、婚礼部門の業務内容などを体系的に学ぶ	1前	15	1	○			○			○	
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ	1前	15	1		○		○			○	
○			ブライダルメイクB	衣裳合わせのお客様にヘアアレンジやメイクができるレベルのテクニックを学ぶ	1後	15	1		○		○			○	
○			ブライダルフラワーIA	基本的な花の扱いを学び行事に合わせたアレンジを学ぶ	1前	15	1		○		○	○	○		
○			ブライダルフラワーIB	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1後	15	1		○		○		○		
○			ブライダル衣裳	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	15	1	○			○			○	
○			ブライダル接遇演習I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	15	1	○			○			○	
○			カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	15	1	○			○			○	
○			カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	15	1	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			レストランサービス演習	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	30	2	○			○		○		
○			バンケット演習	披露宴会場でのサービスを想定し、婚礼料理や飲み物の知識を学ぶ	1後	15	1	○			○		○		
○			ブライダル産業演習A	ブライダル施設見学や、現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状の理解を深める	1前	15	1	○			○		○		
○			ブライダル産業演習B	和婚セミナーを始め、専門式場とホテルのブライダル施設の違いを知る。また、ブライダル現場の担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状を学ぶ	1後	15	1	○			○		○		
○			一般教養ⅠA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1前	15	1	○			○			○	
○			一般教養ⅠB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	30	2	○			○			○	
○			サービス接遇	サービス接遇検定2級と準1級の取得を目指す	1前	30	2	○			○			○	
○			ビジネス文書	ビジネス文書を始めとする、企業で働く庶務全般を学ぶ	1後	15	1	○			○			○	
○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	30	2	○			○		○		
○			Power Pointプレゼンテーション	視覚的表現スキルを高めるためにPower Pointの技能修得を目指す	1後	30	2	○			○		○		
○			社会教養ⅠA	学校のしくみを学び、ホテル実習に向けて準備をする	1前	15	1	○			○		○		
○			社会教養ⅠB	自己分析、業界研究などブライダル実習に向けて準備をする	1後	15	1	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	15	1	○		○				○	
○			GCB I	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○			○			○	
○			ホテル実習	ホテル業界で実習することにより知識と実践力を養う	1前	320	4			○		○	○	○	○
○			ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1後	80	2			○		○	○	○	○
		○	海外ウエディング研修(選択)	海外ウエディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	1後	(40)	(1)			○		○	○		
○			国家試験対策	ブライダルコーディネーター検定の取得を目指す	2後	45	3	○			○			○	
○			パーソナルカラーA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定3級の取得を目指す	2前	60	4		○		○				○
○			パーソナルカラーB	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定2級の取得を目指す	2後	30	2		○		○				○
○			ブライダル接客演習Ⅱ	1年次に学んだ接客の基本を活かし、より具体的な場面に応じた接客マナーの知識を学ぶ	2前	30	2		○		○				○
○			和装着付演習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う	2前	30	2		○		○				○
○			イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	15	1		○		○			○	
○			ブライダルコーディネーター演習	挙式・披露宴に必要な演出やアイテムについて、知識を深める	2前	30	2		○		○			○	
○			ブライダルビューティ演習	ブライダルメイク・ヘアアレンジ・ネイルなど、花嫁をトータルに演出するアイテムについて知識を深める	2前	30	2		○		○			○	



分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			テーブルコーディネート演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2	○			○				
○			司会演習	ブライダル業界に必要な司会技法を学ぶ	2前	15	1	○			○				○
○			マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30	2	○			○				○
○			スタイリスト演習	体形に合わせた衣裳の選び方を学ぶ	2後	15	1	○			○				○
○			フォト・音響照明演習	ブライダル業界に必要な映像技法を学ぶ	2前	30	2	○			○				○
○			海外ウェディング概論	日本の海外ウエディングの歴史を学ぶと共に、現在の海外ウエディング事情を学ぶ	2後	15	1	○			○				○
○			ブライダルフラワーⅡ	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	2後	30	2	○			○			○	
○			一般教養Ⅱ	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2前	30	2	○			○				○
○			社会教養ⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	2前	30	2	○			○			○	
○			社会教養ⅡB	業界研究など就職のための準備や社会人として必要な知識を学ぶ	2後	30	2	○			○			○	
○			茶道	基本の動作と客の作法、略手前ができるようになる	2後	30	2	○			○				○
○			毛筆ペン字	社会人として必要な毛筆ペン字の基礎的な知識や技能の修得を目指す	2前	15	1	○			○				○
○			Windows演習	パソコンの操作技能を活かし、より実務的な文書の作成能力を身につける	2後	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	45	3		○		○				
○			サービス介助	高齢者や障害者へのサービスにおいて必要な、ケアの基本的動作を学ぶ	2後	30	2		○		○				○
○			GCB II	志について学ぶ	2前	15	1	○			○		○		
○			手話	手話でコミュニケーションを取るための基本を学ぶ	2前	30	2		○		○				○
	○	A	プランナー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ（選択必須の4つから1つを受講）	2後	90	6		○		○		○		
	○	B	ドレス演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2後	90	6		○		○		○		
	○	C	ビューティ演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、メイク・ヘア・ネイルなど花嫁をトータルに演出するアイテムを学ぶ	2後	90	6		○		○		○		
	○	D	フラワー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2後	90	6		○		○		○		
○			イラストレータフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30	2		○		○				○
合計			55 科目		1720 単位時間( 単位)										

選択必修科目は\*Aか\*B\*C\*Dのいずれかの科目を選択する

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度	1学年の学期区分
	1学期の授業期間	15 週